

三沢市立三沢病院での内科実習を終えて

弘前大学医学部医学科 5 年 佐藤友梨

2 週間、内科での実習でお世話になりました。大学病院の実習では基本的に内視鏡の見学がメインだったため、三沢病院で外来の見学や救急当番を経験できてとても実りのある 2 週間になりました。

外来見学では大学病院とは異なり、地域の病院ならではの診察を見学することができました。大学病院は紹介の患者がほとんどであり聞かないような疾患や進行してしまったもの、併存症があるため治療が困難なものなど難しい症例が多くありましたが、三沢病院では治療は難しくもないものの長く付き合っていかなければいけないものが多く、より患者と密な関係を築いていく必要があったと感じました。

内視鏡見学では大学病院でも経験させていただいた生検や EMR のスネア操作をやらせていただいただけでなく、大学では先生がやっているのを後ろで見ていただけだった局注もやらせていただき、良い経験になりました。また他の病院から内視鏡の名医と呼ばれる先生をお呼びしての上部下部 ESD 見学では、普段見ているものと少し変わった内視鏡の使い方を見ることが出来ました。さらに、三沢病院の先生方が質問しながら手技を教えていただいている場面を見て、上級医になっても学び続ける姿勢が大切だと改めて感じました。

救急当番では診察をさせていただきました。今までは予約できた新患患者の診察をしたことはありましたが救急に来院した患者の診察は初めての経験でした。新患の場合はある程度の情報を知った状態で診察を始めることができましたが、救急では最低限の情報しかない中でどのような疾患か予測して診察をしなければいけないためとても難しかったです。また、聞いた情報からどのような検査をオーダーするか考えたのも臨床では初めての経験だったため良い経験になりました。

三沢病院での実習は 2 週間と短い期間でしたが今後の自分の役に立つ充実した 2 週間になりました。このように思えるのは忙しい中熱心に指導していただいた指導医の先生だけではなく実習に協力してくださった患者の皆様、温かく迎えてくださった病院スタッフの皆様のおかげです。心から感謝申し上げます。2 週間お世話になりました。



実習期間：2026.8.17～8.28